

# 1. 輸出ターゲット国・ 地域市場・規制等調査結果

(令和4年度補正 品目団体輸出力強化緊急支援事業)

一般社団法人 日本青果物輸出促進協議会

山梨県果実輸出促進協議会

令和5年(2023年)9月25日(月)～27日(水)

調査市場：台湾

# 目的

- ◆ 輸出ターゲット国・地域である台湾において、日本産もも、ぶどうを扱う現地バイヤー（3社）と面談し、日本産果実の品質、需要、競合産地（韓国産シャインマスカットなど）の果実品質や流通実態及び需要等について意見交換を行い、今後の輸出拡大に向けた課題や対応等について検討する。
- ◆ 台湾における最大需要期の一つである中秋節期（2023年は9月29～10月1日）における取り扱い商品や価格帯等を調査し、中秋節期のニーズや輸出拡大の可能性について検討する。

# バイヤー面談結果

## ◆ 日本産果実について

ももは、農薬の規制により数量が非常に少なかった。台湾市場のニーズはあるため、来年度は是非増やしてほしいと要望あり。

ぶどうは、シャインマスカットの人気はまだ十分ある。価格面では、為替の影響や中秋節が例年より遅いことから、昨年同時期と比べるとやや下落。日本での「今年のシャインマスカットは安い」との報道は、台湾市場でも大きく報道された影響で情報が先走り、大手量販で利益を削ってでも販売価格を下げざるを得ない状況となっている（例 R4：499元→R5：399元）。ネット販売は昨年並み。

## ◆ 競合国（韓国産）の果実品質等について

韓国産の数量が増えてきている。糖度はあるが香りがあまり感じられないため、日本産の品質の良さを改めて感じる。

韓国農水省が積極的にPRしてきており、販売促進員を使用した消費宣伝などPRにかなり力を入れてきている。韓国からの業者が直接スーパー等の量販店へ出向き商談を行っている状況。

## ◆ 今後の対応について

引き続き日本産の高品質果実の生産に努めるとともに、価格に見合った価値であることをバイヤーや消費者に訴求していくことが重要。

（もも）輸出拡大に向け、台湾輸出向け防除暦の編成や選果こん包施設の拡大が必要。

# 小売店調査結果

## ◆ 販売価格

(ぶどう) 各品種とも高品質なものが並べられており、シャインマスカットについては、山梨県産をはじめ

め長野県・岡山県・香川県・秋田県産が販売されていた。

日本産シャインマスカット (1房、化粧箱) 約 4,500円~約13,800円  
(6房、木箱) 約46,000円

日本産クイーンルージュ (1房、化粧箱) 約11,000円

日本産ニューピオーネ (1房、化粧箱) 約 4,900円

(もも) 日本産 白桃 (1玉) 約5,000円

## ◆ 販売形態

(ぶどう) 中秋節ということもあり、もも、メロン、りんご、梨や「シャイン&黒系ぶどう」のセットが目立

つ。電子広告による日本産を目立たせた装飾や、販売促進員による試食販売を実施。

## ◆ 中秋節期の輸出拡大の可能性

A L P S 処理水の影響などで不安視された時期があったものの、中秋節時には大きな混乱はなく、贈答

用として日本産果実の高価格帯での販売が確認された。消費者のニーズも高く、今後も高品質を訴求し

た販促活動により輸出拡大に努めていく。